

東青

みどりの通信

No.105
平成29年
4月26日



東青地域県民局地域農林水産部
■ 農業普及振興室 ■

〒030-0861 青森市長島二丁目10番3号 青森フコク生命ビル6F
TEL 017-734-9990 FAX 017-734-8305
E-mail hi-nosui@pref.aomori.lg.jp

平成29年度の東青地域「攻めの農林水産業」の推進にあたって 農業普及振興室長 長谷川 修

平成29年度、農業普及振興室では、

1. 「青天の霹靂のブランド確立と水田フル活用の推進」
2. 果樹観光の活性化を目指す「果樹の楽園づくりの推進」
3. フェイス・トゥ・フェイスを合い言葉とした「農福連携の取組拡大」
4. 夏秋トマトやピーマン、ネギなどの「指定野菜の産地力アップ」
5. 新規就農者の育成・確保や農業経営の法人化等による地域経営の推進
6. 若手女性等による農山漁村起業活動の推進

などにより、農業所得の向上と地域活性化を図ることとしております。

「青天の霹靂」は作付け面積が平成28年度の90haから平成29年度には130ha（前年比133%）へと増大することとなりました。3年連続特Aの評価に恥じないよう、出荷基準達成率100%を目標として、今年初めて作付けする方や、昨年、目標を達成できなかった生産者などを対象として、重点的に施肥などの栽培指導を展開して、「ブランド力の向上」を図っていきたくと考えています。

一方、昨年度発生した「高病原性鳥インフルエンザ」につきましては、「防疫体制」を充実強化し、「再発防止」と「発生時の迅速な対応による早期の収束」に万全を期することとしております。

さて、来年度からは国の主食用米の生産目標数量配分が廃止され、トランプ政権誕生に伴うアメリカ抜きでのTPP交渉など、農政の動きからは目を離せません。

このような中で、東青地域の農業が維持・発展するためには、ミニトマトやにんにくなどの高収益作物の栽培を進めるとともに、地域の様々な食・観光資源を発掘・活用し、果樹観光やグリーン・ブルー・ツーリズムを推進する必要があります。

このような取組を進めることにより、農産物や6次産業化、加工食品、農業観光などを通じた「お客様と生産者」双方の「おいしい笑顔」が東青地域に溢れ、元気を取り戻せるようにして参りたいと考えております。

本年度も農業普及振興室をよろしく申し上げます。

青森観光りんご園の川村忠則氏が 「第35回青森県農業経営研究協会賞」受賞

平成29年2月27日、ラ・プラス青い森において、第35回青森県農業経営研究協会賞の表彰式が開催され、青森市にある青森観光りんご園の川村忠則氏夫妻と後継者夫妻が出席し、同賞と知事賞を授与されました。

この表彰事業は、農業経営の改善について自ら実践し、優れた業績をあげた県内の農業者や農業者の組織する団体を表彰するもので、年間農業所得が概ね500万円以上であること、経営記録が明確であること、地域での信頼が高く、地域農業の振興に指導的役割を果たしていることが要件となっています。

青森観光りんご園は、りんごを基幹とした観光果樹園を主体とし、早生から中生、晩生まで32品種のりんごのほか、おうとうなど39品目の特産果樹を組み合わせることで、年間を通じた収入の確保と通年雇用を実現するなど、観光果樹園の草分け的な存在として地域農業をリードしています。

また、後継者夫妻の就農を契機に花きを導入したほか、加工部門、農産物加工体験カフェの開設など多角的な経営を展開しています。

35回 青森県農業経営研究協会賞 表彰式



新青年農業士、VIC・ウーマン 「あもり土づくりの匠」を紹介します

青年農業士



木立 博史 さん（青森市）

平成16年に就農し、きゅうり、ミニトマトと水稻の複合経営を実践しています。また、新規就農を目指す研修生や営農大学校生を受け入れ後継者育成にも取り組んでいます。



高橋 美雪 さん（青森市）

平成18年に就農し、夫と共に施設トマトを栽培しています。ま、直売活動に積極的に取り組んでおり、若手女性リーダーとしてその取組を牽引しています。

VIC・ウーマン



津島 鉄平 さん（蓬田村）

平成16年に就農、トマトを栽培し、農協トマト部会の支部長を務めています。また、村内外の新規就農希望者を受け入れ、就農に向けた支援を行っています。



本郷 洋子 さん（今別町）

水稻と野菜の複合経営に取り組むとともに、「いまべつ野菜の会」に所属し、産直で野菜を販売するなど、今別町の野菜振興に努めています。

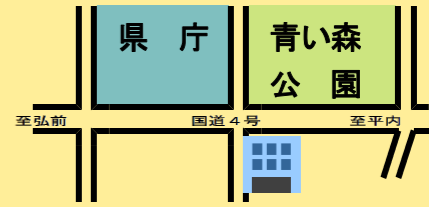
あもり土づくりの匠（耕種部門）



福士 明宏 さん（青森市）

独自の「地下かんがい方式」を活用した田畑輪換による水稻と大豆の減農薬栽培、無農薬栽培を行っているほか、就農希望者の研修や小学生への食育活動などにより、土づくり技術の普及に取り組んでいます。

東青地域県民局地域農林水産部は



青森フコク生命ビル6階です。



平成29年度農業普及振興室の職員を紹介します！



農業普及振興室長

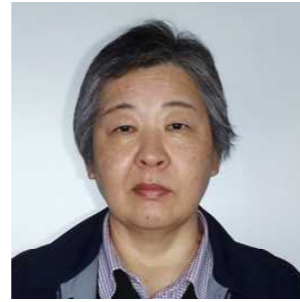
企画班



農業普及振興室長
長谷川 修
(室の総括)



総括主幹(副室長)
齋藤 力
(班の総括)



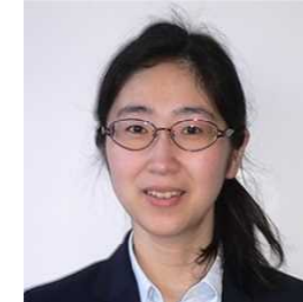
主幹
長村 芳枝
(6次産業化
IC77アーマー)



主査
牧野 丈太郎
(機構集積協力金
GAP)



主査
佐藤 祐子
(攻めの農林水産業
米トレ)



主査
山本 倫子
(経営所得安定対策
土づくり)



主査
齋藤 聡子
(食品表示・農福連携)



専門員
秋元 淑宏
(特別栽培)

経営・担い手班



総括主幹(副室長)
加藤 寿男
(班の総括)



主幹
工藤 マサ子
(女性リーダー育成)



主幹
白石 一志
(経営・担い手)



主幹
関 みち子
(若手女性起業)



主査
白取 愛
(地域経営
経営体育成支援事業)



主査
葛西 文
(新規就農
認定農業者)



技師
中野 裕子
(鳥獣被害・養蜂)

生産班



総括主幹(副室長)
藤田 正男
(班の総括)



総括主幹
斉藤 仁志
(稲作・畑作)



主幹
横山 順一
(花き・冬の農業)



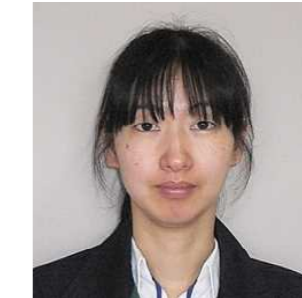
主幹
三村 葉子
(畜産)



主幹
北野 拓磨
(野菜・農薬)



主査
白川 真美子
(果樹)



主査
下山 ひろみ
(野菜
あおもり海道そば)



技師
長内 勇志
(果樹・4H)

■ 春の農作業安全運動 ■

農作業事故の多くは、トラクター操作によるものです。ヘルメット着用や袖口など服装を整え、周囲に気をくばり、慎重に作業しましょう！

■ 山火事防止 ■

タバコの投げ捨てや、たき火等の不始末に一人一人が注意し、山火事を防ぎましょう！

■ 山菜採り等事故防止 ■

あらかじめ家族等に行動予定を連絡し、単独の入山はやめ、万全の装備をし、安全を優先しましょう！